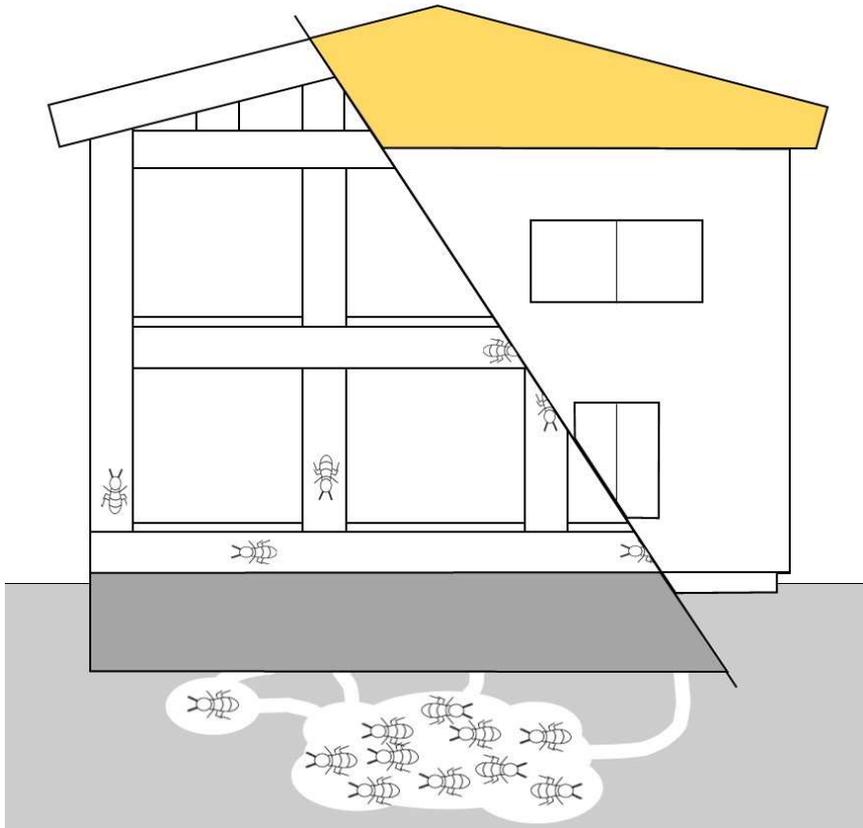


## シロアリ被害の実際

### ● 被害の実際

ここでは日本の住宅で特に多いヤマトシロアリとイエシロアリによる被害について説明します。

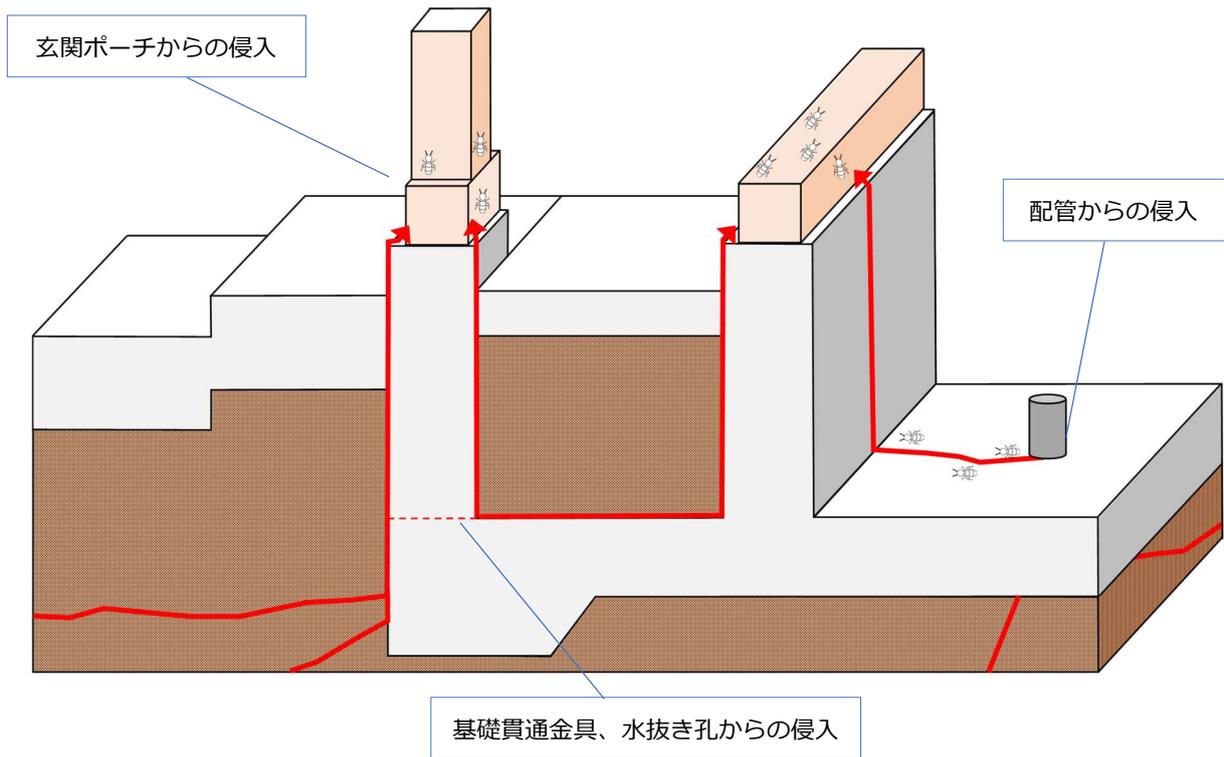
これら2種のシロアリは主に地中に巣を作って生活しているため、住宅には地下から侵入することがほとんどです。



シロアリは1mm程度のわずかな隙間があれば、移動することができるとの報告があります。基礎コンクリートの打継ぎ部等に亀裂が入り、隙間が発生している場合、そこがシロアリの通り道となり、住宅内部に侵入することもあります。

ベタ基礎は住宅金融支援機構の住宅工事仕様書の中で有効な防蟻措置として定められていますが、実際にはベタ基礎であっても、わずかな隙間やコンクリートの打継ぎ部から侵入したシロアリによる被害が発生しています。

ザイエンスの調査では、ベタ基礎でのシロアリ被害の70%は玄関、玄関ポーチ、勝手口で発生しています。また、それ以外にも、配管と基礎コンクリートの隙間や基礎貫通金具からシロアリが侵入するケースもあります。羽アリが飛んできて巣を作るケースはほとんどありません。



【実際の被害写真】



玄関ドア枠の被害



玄関巾木の被害



玄関框の被害



床下基礎コンクリートの隙間から  
立ち上がる蟻道

● シロアリ被害の見つけ方

シロアリは人の目に見えない場所を好んで移動する性質があり、早期に発見することは困難です。下記のような兆候があった場合、シロアリの被害が進行している可能性があります。

1) 蟻道

床下や外壁に土の塊のようなものが付着している場合、シロアリが侵入するための道（蟻道）の可能性があります。



2) 羽アリ

家の周囲あるいは家の中に羽アリを発見した場合、シロアリ被害が発生している可能性があります。



3) 空洞音等

壁や柱をハンマー等でたたいた時に空洞音がした場合、シロアリ被害が進行している可能性があります。また、床を踏んだ時に柔らかくなっているように感じた場合も同様に、シロアリ被害を受けている可能性が考えられます。

シロアリは木材の表面を残し、内部を食べるため、一見健全に見えても被害が進行していることがあります。

